

第 2 6 2 回

香川県内水面漁場管理委員会議事録

令和 3 年 1 0 月 8 日

第262回 香川県内水面漁場管理委員会議事録

1. 開催年月日 令和3年10月8日
10時00分～10時50分
2. 開催場所 高松市番町四丁目1番10号
香川県庁本館12階大会議室

3. 出席した委員

会 長	一 見 和 彦
委 員	仲 野 和 夫
〃	岡 田 幸 憲
〃	竹 内 英 樹
〃	石 田 隆 幸
〃	宮 本 礼 子
〃	鈴 木 登 美 雄
〃	長 田 美 絵

4. 関係列席者

水産課・事務局

課長兼事務局長	柏 山 浩 史
課長補佐兼事務局次長	大 山 憲 一
副主幹	龍 満 直 起
主任技師	秦 正 樹
技師	大藪賀 真 由

5. 議事事項とその結果

第1号議案

「第一種区画漁業等の被免許者の決定について（諮問）」

原案どおり承認

第2号議案

「令和4年度中央省庁提案項目素案の検討及びアンケート調査について（協議）」

原案どおり承認

6. 議事のあらまし

一見会長が議長席に着き、挨拶後、議事録署名委員に仲野委員と竹内委員を指名

して議事に入る。

〔一見会長〕

それでは、第1号議案「第一種区画漁業等の被免許者の決定について（諮問）」を事務局から説明をお願いします。

〔龍満副主幹〕

（資料1に基づき、説明。）

〔一見会長〕

はい。では、この件について、何かご意見等はないですか。

（委員、意見なし）

特に、意見もありませんので、これについては、適当である旨答申してもよろしいですか。

（委員、了解）

ありがとうございます。ではそのように対応したいと思います。続きまして第2号議案「令和4年度中央省庁提案項目素案の検討及びアンケート調査について（協議）」を事務局より説明願います。

〔大藪賀技師〕

（資料2の「外来魚対策について」部分を説明。）

〔一見会長〕

外来魚の部分については、前回の委員で出た皆様からの意見などは回答欄の文言にすべて含まれているということで、今回の提案修正は無い旨、香川県として回答していきたいということです。よろしいですか。

（委員、了解）

はい。では、次の説明をお願いします。

〔大藪賀技師〕

（資料2の「魚病対策について」部分を説明。）

前回、石田委員から意見のあったイカリムシの医薬品開発のような市場の小さな魚種の医薬品開発についても提案文に触れているため、今回修正はない旨回答したいと考えています。

〔一見会長〕

はい。では、魚病対策について何かご意見はありますか。

（委員、意見なし）

特に無いようですね。では次をお願いします。

〔大藪賀技師〕

(資料2の「鳥類による食害被害対策について」部分を説明。)

前回の委員会でご意見があったカワウ対策の推進に関する内容であるため、県としては提案文の修正はしない方向で考えています。

[一見会長]

はい。では、鳥類による食害被害対策について何かご意見はありますでしょうか。

(委員、意見なし)

では次をお願いします。

[大藪賀技師]

(資料2の「ウナギの資源回復について」部分を説明。)

[一見会長]

事務局からそれぞれ丁寧に説明いただきましたが、特に提案文書の修正や加筆などは特にないということです。全体を通じて何かご意見などはありませんか。

(委員、意見なし)

では、アンケート調査結果について説明してください。

[大藪賀技師]

(資料2の「令和4年度提案項目に係るアンケート調査」部分を説明。)

[一見会長]

香川県のアンケート回答について、説明いただきました。

[鈴木委員]

カワウに関する設問で、カワウ生息数については年々増加しているのに、被害について「変化なし」で回答すると伺いましたが、それでよいのですか。

[大藪賀技師]

被害額については、元々把握していないため、多くなったものか少なくなったものか比較できないため、「変化なし」で回答したいと考えています。

[一見会長]

生息数は野鳥の会が数えているのですか。

[大藪賀技師]

はい。

[一見会長]

そうなら、やはり生息数は増えているのでしょうかね。野鳥の会のカウント数

はかなり信頼できます。駆除数が年間 800 から 1,000 羽となっていますが、そうなる単純に生息数に対して 1 / 4 が駆除されているのに毎年生息数が伸びていることになり、増えやすい環境が整っているのか、それとも他から入ってくるのか、いずれにしても減らないですね。

[鈴木委員]

この数値は、カワウのいる場所で定点観測したものだと思いますが、観測場所以外の場所にも相当いますよ。

[柏山課長]

カワウの調査については、例年冬場、陸側調査ではみどり保全課がガンやカモの生息数を数える時に、一緒に数えてもらっています。また、海側調査ではコロニーがある場所で、早朝にカワウが飛び立つ前に数えてもらっています。委員長が言われたように本当に 1 / 4 も駆除して増加しているという実態については、他県の状況なども踏まえながら、きちんと検証していくべき課題だと思っています。

また、鈴木委員が言われたように、河原などにずらっとカワウが並んでいる姿をみると、本当に生息数はこの数値だけなのかという気持ちになります。

いずれにしても、カワウの駆除については効率的に実施するべきであり、例えば駆除の時期や県下一斉に駆除をするなど、手法については今後も検討していきたいと思っています。

[鈴木委員]

これまでカワウを見なかった川に、カワウを見る機会が増えてきました。確実に数は増えていると思います。

[仲野委員]

私の地区でも、池には必ず 1 ~ 2 羽のカワウがいます。カワウを見ない池はありません。さらに、綾川にアユが上る時期には、何百羽と集まってきます。昔に比べてかなり増えていると思います。

[一見会長]

カワウの産卵羽数はそんなに多くなかったと記憶しています。これだけの数が駆除されていれば、増えることはないと思いますが、よく分からない部分がありますね。

では、これ以外で何か意見はないでしょうか。

(委員、意見なし)

それでは、第二号議案については、これで終わります。次に「その他」ですが、事務局から何かありますか。

[大藪賀技師]

特に、ありません。

[一見会長]

では、委員の皆様から何かありますか。

(委員から特になし)

それではこれで、委員会を閉会いたします。

[10時50分終了]

上記は、第262回香川県内水面漁場管理委員会の議事の顛末に相違ありません。

議 長 一 見 和 彦

署名委員 仲 野 和 夫

署名委員 竹 内 英 樹